



いきいき北っ子

文責：副園長 恩田真由美

【きらきら輝いた運動会】

このところ「暑い」から「涼しい」を乗り越して「寒い」くらいですね。それでも子ども達は、園庭を走り回って元気いっぱいです。

さて、10月5日は雨の中、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、『きらきら運動会』を無事に終えることができました。今回の『きらきら運動会』では、運動会のために子ども達の活動を仕組むのではなく、普段の遊びや生活を通して一人一人が自分のよさに気付いたり、仲間と一緒に活動する楽しさや、喜びを味わったりして、心身ともに成長を実感する機会となることをねらいとしてきました。当日の子ども達は、保護者の皆さんからたくさんの応援をいただいて、達成感や充実感を得ました。その証拠にその後の園庭での



「運動会ごっこ」は3週間以上、異年齢で楽しく大盛り上がりでした。本当にありがとうございました。

【後期始業式】

「〇〇君、さようなら。明日も一緒にけん玉遊びをしようね」

「いいよ。〇〇ちゃん、さようなら」

「名前を呼んで挨拶してもらったり、遊びに誘ってもらったりしてどんな気持ちになりましたか？」



「明日も、こども園へ行って、〇〇ちゃんと一緒に遊びたいと思いました。」

10月16日、多目的室で後期始業式を行いました。北方町立こども園の子ども達は、よく挨拶ができるのですが、この式で、みどり組とあお組のお兄さん・お姉さんが寸劇をし、後期からは更に一言加えて「心がポカポカする挨拶をしよう」と、投げ掛けてくれました。寸劇の後には、園長先生からインタビューがあり、「名前を呼んで挨拶をしてもらおうと、どんな気持ちになりますか？」の問いには、「名前を呼んでくれて嬉しい気持ちになり、もっと仲良くしたいと思いました」また、「どうして名前を呼んで『明日も遊ぼうね』って言ったのかな？」の問いには、「名前を呼ぶと誰に挨拶したか分かるし、『明日も遊ぼうね』って言えば、相手の子が嬉しい気持ちになるかなと思いました」と答えていました。園長先生のインタビューに丁寧に答えられる年長さんはすごいなと思いましたが、座って話を聞いている他の子ども達も、きちんと話を聞いていて、北方町立こども園の子ども達は、「挨拶名人」だけでなく「お話聞き名人」でもあるなあと、感心した後期始業式でした。これから後期の子ども達の成長が、益々楽しみです！！

【子どもサミット】

毎月、月末に民生児童委員の方や保護者会役員さんが、季節のアイテムを持って挨拶活動を盛り上げてくださっています。ありがたいことです。

